

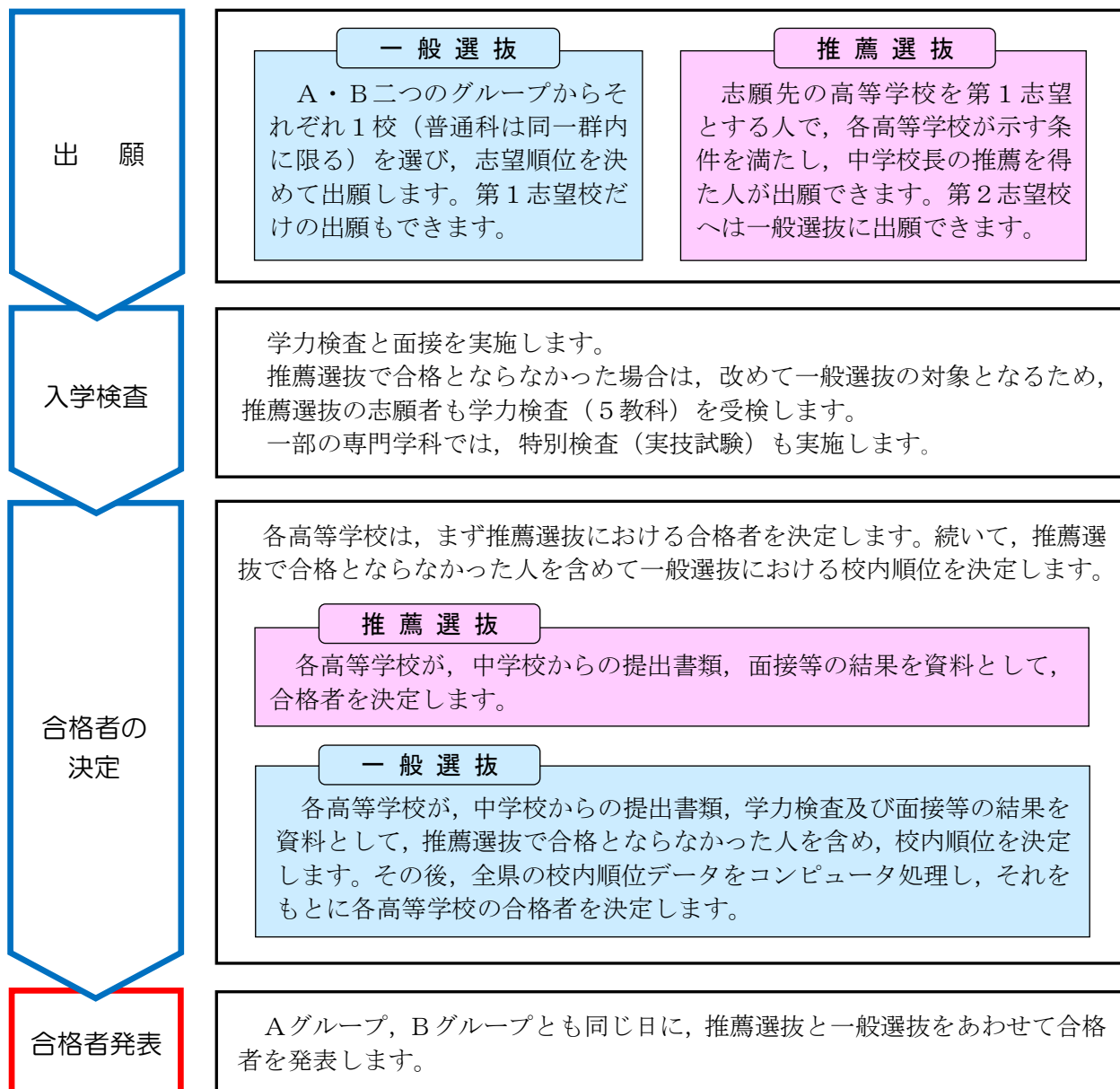
平成 29 年度以降の公立高校 (全日制) の入試制度

I 新しい入試制度の概要

全日制課程の高等学校は、A・B二つのグループに分かれます。入学検査日が異なるので、A・B二つのグループからそれぞれ1校、合計2校まで出願できます。ただし、普通科の高等学校は、尾張第1群、尾張第2群、三河群という三つの群に分かれており（p.5【表1】参照）、普通科2校に出願する場合は、同一群内の2校の組み合わせに限りです。

選抜には、一般選抜と推薦選抜があります。推薦選抜に出願できるのは、志願先の高等学校を第1志望校とする人で、各高等学校が示す条件を満たし、中学校長の推薦を得た人です。推薦選抜で合格とならなかった場合は、改めて一般選抜の対象となるため、推薦選抜の志願者も、一般選抜と同じ5教科の学力検査を受検します。

II 出願から合格者発表までの流れ



Ⅲ 新しい入試制度の内容

実施時期

平成29年度公立高等学校入学者選抜（平成29年3月）から実施します。

通学区域（学区）

普通科は、尾張・三河の2学区に分かれており、志願者は、居住する学区内の高等学校を受検できます。（p.5【表1】参照） いわゆる調整区域に居住する志願者は、居住する学区内の高等学校に加えて、居住地によって定められた学区外の高等学校にも出願できます。（p.5【表2】参照）

また、専門学科と総合学科は全県1学区ですので、居住地にかかわらず、全ての高等学校を受検できます。（p.6【表3】参照）

群及びグループ分け

○ 普通科

県内の全ての普通科高等学校を、尾張第1群、尾張第2群、三河群の三つに分け、さらに、それぞれの群を、A・B二つのグループに分けています。なお、尾張学区では、第1群、第2群のどちらにも属する1・2群共通校を設置しています。（p.5【表1】参照）

○ 専門学科・総合学科

県内の全ての専門学科・総合学科の高等学校を、A・B二つのグループに分けています。普通科のような群はありません。（p.6【表3】参照）

出 願

一 般 選 抜

A・B二つのグループからそれぞれ1校、合計2校まで出願することができます。普通科2校に出願する場合は、同一群内の2校の組み合わせに限りです。

2校に出願する場合は、第1志望校と第2志望校をあらかじめ決めて出願します。

推 薦 選 抜

志願先の高等学校を第1志望とする人で、各高等学校が示す条件を満たし、中学校長の推薦を得た人が出願できます。

なお、第2志望校へは、一般選抜に出願することができます。

志 願 変 更

第1志望校、第2志望校のいずれか1校1学科に限り、すでに出願した高等学校又は学科を変更（志願変更）することができます。志願変更をする場合には、志望順位の変更もできますが、志望校をそのままにして志望順位だけを入れ替えることはできません。

なお、推薦選抜に出願した場合は、第2志望校のみ変更が可能です。第1志望校の変更や、志望順位の変更はできません。

入 学 検 査

学力検査と面接を全校で実施します。

学力検査は、推薦選抜に出願した人を含めて、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科を受検します。外国語（英語）は、聞き取り検査を含みます。検査時間は各教科45分です。ただし、外国語（英語）は、聞き取り検査が10分間程度、筆記検査が40分です。各教科の満点は22点で、合計得点の最高は110点です。（従来は、各教科40分、20点満点）

面接は、推薦選抜の受検者と一般選抜の受検者を別に行います。推薦選抜の面接は、一般選抜の面接を兼ねて行います。面接の具体的な方法は、各高等学校で定めます。

また、音楽科など一部の専門学科では、特別検査（実技試験）も実施します。

合格者の決定

各高等学校は、まず、推薦選抜における合格者を決定します。続いて、推薦選抜で合格とならなかった人を含めて一般選抜を行い、校内順位を決定します。その後、全県の校内順位データをもとに、各高等学校の合格者を決定します。

推 薦 選 抜

各高等学校が、中学校からの提出書類、面接等の結果を資料として、合格者を決定します。推薦選抜では、学力検査の結果は資料として用いません。

推薦選抜で合格とならなかった場合は、学力検査（5教科）の結果を資料に加え、改めて一般選抜の対象となります。

一 般 選 抜

各高等学校が、中学校からの提出書類、学力検査及び面接等の結果を資料として、推薦選抜で合格とならなかった人を含め、校内順位を決定します。

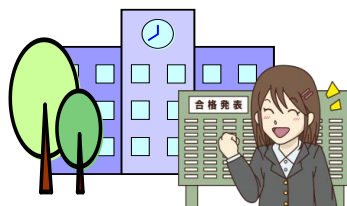
その後、全県の校内順位データをコンピュータ処理して作成された合格候補者名簿に基づいて、各高等学校が合格者を決定します。コンピュータによる処理は、次のように行われます。

- ① 第1志望校が合格圏内にあるときは、第1志望校の合格者とします。
- ② ①に伴い、第2志望校では、第1志望校に合格した人数分だけ、校内順位に従って受検者を繰り上げ、合格者とします。

合 格 者 発 表

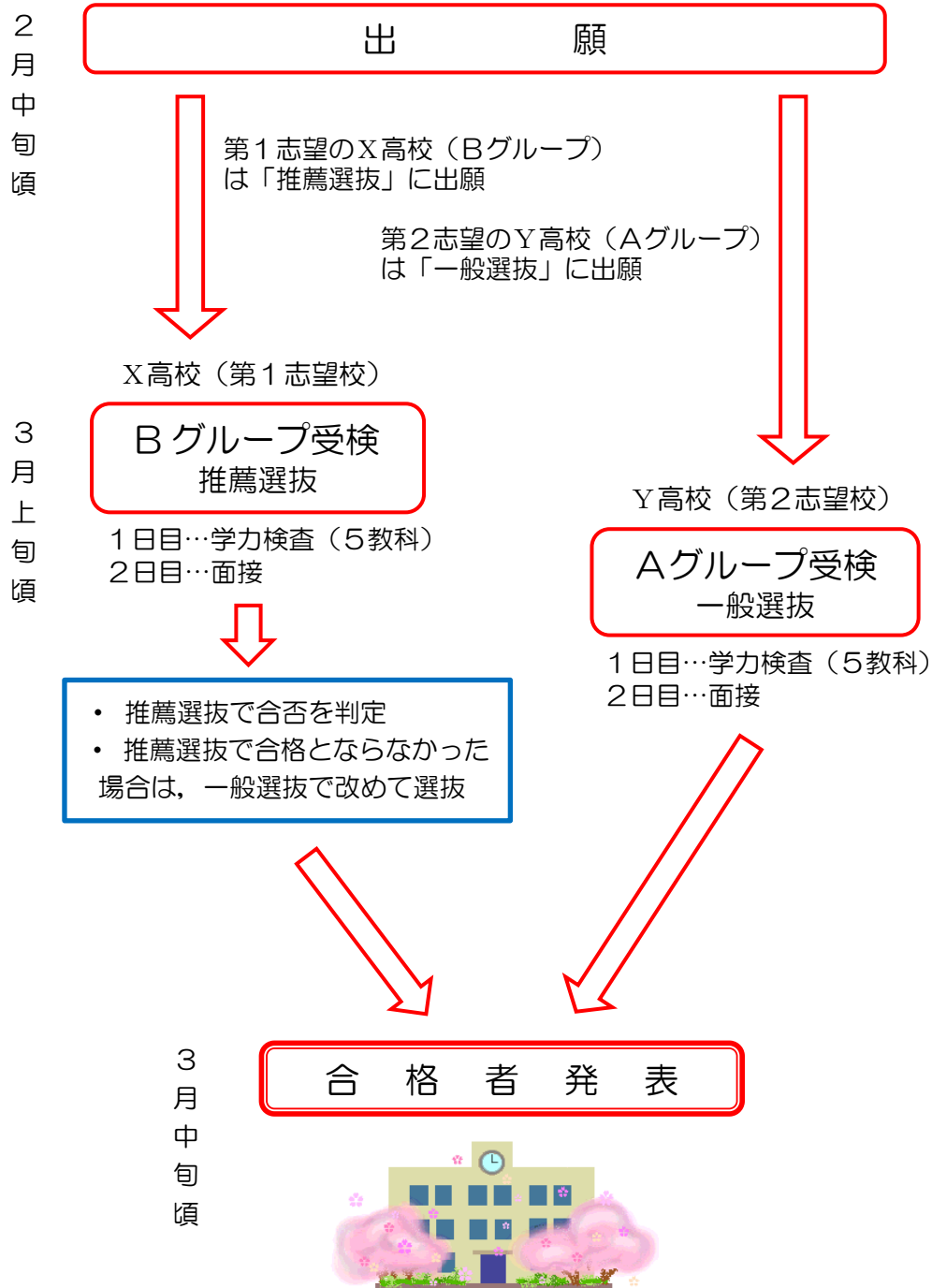
Aグループ、Bグループとも同じ日に、推薦選抜と一般選抜をあわせて合格者を発表します。

受検した高等学校において、「本校に合格」、「相手校に合格」の別が分かるように掲示します。また、出身中学校や本人へは、推薦選抜での合格か一般選抜での合格かが分かるように通知します。



出願から合格者発表までの流れ（例）

第1志望の X高校（Bグループ）は「推薦選抜」に出願し、
第2志望の Y高校（Aグループ）は「一般選抜」に出願する場合



※ 入学者選抜実施日程がBグループ→Aグループの場合の例です。

【表 1】全日制課程普通科の通学区域並びに群及びグループ分け（平成29年度以降）

※ 下線の付いた高等学校は、1・2群共通校です。 [市郡名は平成27年5月1日現在]

	全 日 制 課 程 普 通 科 通 学 区 域		
	尾 張 学 区		三 河 学 区
地 域	名古屋市，一宮市，瀬戸市，半田市，春日井市，津島市， 犬山市，常滑市，江南市，小牧市，稲沢市，東海市，大府市， 知多市，尾張旭市，岩倉市，豊明市，日進市，愛西市， 清須市，北名古屋市，弥富市，あま市，長久手市，愛知郡， 西春日井郡，丹羽郡，海部郡，知多郡		豊橋市，岡崎市，豊川市， 碧南市，刈谷市，豊田市， 安城市，西尾市，蒲郡市， 新城市，知立市，高浜市， 田原市，みよし市，額田郡， 北設楽郡
	高 等 学 校 名		高 等 学 校 名
群	尾 張 第 1 群	尾 張 第 2 群	三 河 群
A グ ル ー プ	旭丘，惟信， <u>松蔭</u> ，昭和， 熱田，豊明，日進西， 犬山南，江南，小牧， <u>一宮北</u> ，一宮南， <u>尾西</u> ， <u>津島</u> ， <u>海翔</u> ，半田東， <u>常滑</u> ， <u>内海</u> ， 市立緑，市立名東 (20校)	明和， <u>松蔭</u> ，名古屋南， 瀬戸西，春日井，春日井西， 高蔵寺，長久手，新川，一宮， <u>一宮北</u> ， <u>尾西</u> ， <u>津島</u> ，津島北， 稲沢東， <u>海翔</u> ， <u>常滑</u> ，東海南， 大府， <u>内海</u> ， 市立向陽，市立山田 (22校)	衣台，豊田北，豊田南， 加茂丘，足助，岡崎，岡崎西， 岩津，刈谷，安城，西尾東， 一色，知立，高浜，豊丘， 豊橋南，福江，国府，御津， 新城東（本校），田口 (21校)
B グ ル ー プ	名古屋西，中村，鳴海， 天白，春日井東，日進， 東郷，犬山，尾北， <u>小牧南</u> ， 丹羽，一宮西， <u>木曽川</u> ， <u>美和</u> ，半田， <u>大府東</u> ， <u>阿久比</u> ，東浦，武豊， 市立菊里，市立富田 (21校)	千種，守山，瑞陵，瀬戸， <u>春日井東</u> ，春日井南，旭野， 犬山，小牧南，西春， 一宮興道， <u>木曽川</u> ，津島東， <u>美和</u> ，五条，横須賀， <u>大府東</u> ， <u>阿久比</u> ，東浦，武豊， 市立桜台，市立北 (22校)	豊田西，豊田，豊野，松平， 三好，岡崎北，幸田，碧南， 刈谷北，安城東，安城南， 西尾，吉良，知立東，時習館， 豊橋東，豊橋西，成章， 小坂井，蒲郡東 (20校)

【表 2】 ※ 居住地欄の地域に居住する人は、それぞれ学区内の高等学校に加え、学区外で通学可能な高等学校欄に掲載した高等学校に通学することができます。

居 住 地	学区外で通学可能な高等学校
大府市及び豊明市	刈谷，刈谷北，知立，知立東
知多郡東浦町	刈谷，刈谷北，知立，知立東，高浜
日進市及び愛知郡東郷町	豊田西，衣台，豊田，三好
刈谷市及び知立市	豊明，大府，大府東，東浦
高浜市	東浦
豊田市及びみよし市	日進，日進西，東郷
知多郡南知多町篠島及び日間賀島	三河学区に属する高等学校
西尾市一色町佐久島	尾張学区に属する高等学校

【表 3】 全日制課程専門学科及び総合学科の通学区域並びにグループ分け（平成29年度以降）

		全 日 制 課 程 専 門 学 科 及 び 総 合 学 科 の 通 学 区 域	
地 域		県	内 全 域
	学 科	高 等 学 校 名	
A グ ル ー プ	農 業	稲沢，半田農業，安城農林，新城東・作手校舎，田口（4校1校舎）	
	工 業	名南工業，春日井工業，一宮工業，起工業，常滑，豊田工業，碧南工業，豊橋工業，市立工芸（9校）	
	商 業	愛知商業，緑丘商業，一宮商業，津島北，半田商業，岡崎商業，知立，豊橋商業，国府，市立若宮商業（10校）	
	家 庭	一宮，大府，岩津，安城，一色，豊丘，豊橋南（7校）	
	福 祉	海翔，高浜，宝陵（3校）	
	その他の 専門学科	旭丘（美術），明和（音楽），御津（国際教養），宝陵（衛生看護），市立向陽（国際科学），市立名東（国際英語）（6校）	
	総 合	瀬戸北総合，豊田東，蒲郡，市立西陵（4校）	
B グ ル ー プ	農 業	佐屋，猿投農林，渥美農業，新城（4校）	
	工 業	愛知総合工科，瀬戸窯業，小牧工業，佐織工業，半田工業，岡崎工業，刈谷工業，豊川工業，市立工業（9校）	
	商 業	中川商業，瀬戸窯業，春日井商業，犬山，古知野，木曽川，東海商業，碧南，成章，新城，市立名古屋商業（11校）	
	家 庭	瑞陵，古知野，佐屋，桃陵，松平，吉良，成章，新城，市立桜台（9校）	
	福 祉	古知野（1校）	
	その他の 専門学科	千種（国際教養），尾北（国際教養），桃陵（衛生看護），三好（スポーツ科学），三谷水産（水産），市立菊里（音楽）（6校）	
	総 合	南陽，岩倉総合，杏和，知多翔洋，岡崎東，鶴城丘（6校）	

（注） 【表1】 及び【表3】 の学校名等は，平成27年度募集公告に基づいています。ただし，県立愛知工業高等学校は平成28年度に募集停止となるため記載せず，また，県立愛知総合工科高等学校は平成28年度に開校するため記載しています。

新しい入試制度に関するQ & A



Q 1 推薦選抜への出願は、どのように行うのですか。

A 推薦選抜への出願は、第1志望校用の入学願書を用います。その際、入学願書に加えて、中学校長の推薦書を提出します。

Q 2 推薦選抜の志願者も学力検査を受検するのはなぜですか。

A 推薦選抜では、学力検査の結果は選抜の資料となりません。しかし、推薦選抜で合格とならなかった場合は、改めて一般選抜の対象となります。そのため、推薦選抜の志願者も学力検査（5教科）を受検しておく必要があります。

Q 3 志願変更で、推薦選抜への出願を取り下げ、一般選抜の出願に変更することはできますか。

A 志願変更で、推薦選抜への出願から、一般選抜への出願に変更することはできません。

Q 4 推薦選抜の面接はどのように行われますか。

A 推薦選抜の面接と一般選抜の面接は別に行われ、内容も異なります。推薦選抜の面接では、一般選抜の面接と共通の質問に加え、推薦選抜用の質問もします。なお、従来の「ことばによる自己表現」の時間はありませんが、その趣旨を踏まえた質問をします。

Q 5 推薦選抜で合格しなかった場合、一般選抜で改めて選抜されるときに不利になりませんか。

A 不利にはなりません。一般選抜に出願した人とともに、公平に選抜されます。

Q 6 特別検査が実施されるのは、どの専門学科ですか。

A デザイン科、クリエイティブデザイン科、音楽科、美術科、スポーツ科学科です。また、国際英語科と国際教養科の推薦選抜では、「英語による問答」が行われる場合があります。なお、県立愛知総合工科高等学校にはデザイン系の学科を設置する予定ですが、全学科を一括して募集するため、特別検査（実技試験）は実施しません。

Q 7 第2次選抜は実施されますか。

A 合格者数が募集人員に満たない高等学校・学科で実施します。出願できるのは、国公立を問わず、愛知県内のいずれかの高等学校を志願・受検し、いずれの高等学校にも合格しなかった人です。群及びグループに関わりなく、学区内の全ての高等学校（専門学科と総合学科は県内全域）のうち、1校1学科に限り出願できます。

Q 8 海外帰国生徒や外国人生徒等を対象とする選抜はありますか。

A 一部の高等学校で特別な選抜の枠を設け、海外帰国生徒選抜、外国人生徒等選抜、連携型中高一貫教育校選抜を実施します。

Q 9 普通科のコース制について教えてください。

A 普通科のコース制は、教育課程に専門科目等を積極的に取り入れることにより、生徒の多様なニーズに応える制度です。専門科目等として、体験的・実践的な科目を3年間で10単位程度から18単位程度履修します。

コースを設置する高校へ出願する際は、入学願書とともに「コース選択希望票」を提出します。

このリーフレットは、平成29年度以降の愛知県の公立高等学校入学者選抜制度について、中学生とその保護者の皆さんに理解していただくために作成したものです。

＜問い合わせ先＞

愛知県教育委員会 高等学校教育課 進路指導グループ

電話 052-954-6786（ダイヤルイン）